



本庄市マスコット

はにぽん

本庄市議会だより



おもな内容

ページ

- 第2回定例会の概要、おもな案件 2
- 委員会のうごき①、提出議案とその結果 2 ～ 3
- 市政に対する一般質問 4 ～ 11
- 委員会のうごき②、議員提出議案 11
- 議員表彰、9月定例会の予定等 12

写真タイトル

「夏だ神輿だ暑さを吹き飛ばせ」

撮影者：新井 廣行さん

撮影場所：児玉町児玉（八幡神社境内）

（令和7年7月撮影）

今年度も表紙写真の公募を行います。
詳しくは裏面及びホームページをご覧ください。

◆**厚生文教常任委員会**
○第39号議案
令和8年度本庄市一般会計補正予算（第1号）
英語指導力の指導方法改善事業の専門家を派遣するスケジュールなどについて質疑しました。付託議案3件について、すべて可決すべきものと決しました。



◆**建設産業常任委員会**
○第29号議案
本庄市農業委員会の委員等の定数を定める条例の一部を改正する条例
定数変更後の推薦募集の方法などについて質疑しました。付託議案2件について、すべて可決すべきものと決しました。

本庄市税条例の一部を改正する条例
条例改正による市民へのメリットなどについて質疑しました。付託議案3件について、すべて可決すべきものと決しました。

令和8年第2回定例会

提出議案とその結果

（賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠）

			議席番号																				
			123456789101112131415161718192021																				
議案番号	件名	議決結果	國師雄太	原史子	原由徳	加藤栄二	山田高史	出牛順一	朝比奈知恵子	栗田弘志	倉林益代	小賀野健司	内田英亮	矢野間規	山口豊	山田康博	門倉道雄	富田雅寿	堀口伊代子	柿沼綾子	広瀬伸一	早野清	
第25号議案	本庄市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例 ・地方自治法の一部改正に伴う所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
第26号議案	本庄市税条例の一部を改正する条例 ・地方税法等の一部改正に伴う所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
第27号議案	本庄市介護保険条例の一部を改正する条例 ・介護保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の減免の規定を整備する条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
第28号議案	本庄市就学支援委員会条例等の一部を改正する条例 ・事務の効率化を図るため、公民館相互の連絡調整に当たる公民館を変更等するための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
第29号議案	本庄市農業委員会の委員等の定数を定める条例の一部を改正する条例 ・農業委員会等に関する法律に基づき、基準農業者数の減少に伴う農業委員の定数の改正をするための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
第30号議案	市道路線の廃止について ・道路法第10条の規定に基づき、払下げにより廃止するもの2件について、市道路線を廃止するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		議長は可否同数の場合のみ裁決します。	○	○	○	○	○	
第31号議案	専決処分の承認を求めることについて ・令和8年3月31日に公布された地方税法等の一部を改正する法律のうち、市税に関する改正規定の一部が令和8年4月1日から施行されることに伴い、本庄市税条例の一部を改正する条例を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるもの	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第32号議案	専決処分の承認を求めることについて ・令和8年3月31日に公布された地方税法等の一部を改正する法律のうち、都市計画税に関する改正規定が令和8年4月1日から施行されることに伴い、本庄市都市計画税条例の一部を改正する条例を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるもの	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第33号議案	専決処分の承認を求めることについて ・令和8年3月31日に公布された地方税法施行令等の一部を改正する政令のうち、国民健康保険税に関する改正規定が令和8年4月1日から施行されることに伴い、本庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるもの	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第34号議案	本庄市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて ・地方税法第404条第2項の規定により矢嶋雅宏氏を本庄市固定資産評価員として選任するため、議会の同意を求めるもの	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第35号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて【P2】	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第36号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて【P2】	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第37号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて【P2】	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第38号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて【P2】	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第39号議案	令和8年度本庄市一般会計補正予算（第1号）【P2】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
議第1号議案	イラン戦争がもたらした物価高・資材不足から暮らしと営業を守るための緊急対策を求める意見書【P11】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		

6月定例会

条例改正、補正予算など16議案を審議



令和8年第2回定例会（6月定例会）を、5月28日（木）から6月24日（水）までの28日間の会期で開催しました。

今定例会には、市長から条例の一部改正、人事案件、令和8年度補正予算など15議案が提出されました。また、議員からは意見書1議案の提出がありました。

慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり可決、承認、同意しました。

おもな案件

◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、次の方を人権擁護委員の候補者として推薦したため、議会の意見を求めるものです。

福島 慎治 氏
中島 邦夫 氏
黒澤 敬子 氏
浅香 浩延 氏

◆令和8年度本庄市一般会計補正予算（第1号）

北泉小学校において、本年度も「埼玉県道徳教育研究推進モデル校」の取組を実施するための追加など、歳入歳出それぞれ73万9000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ346億7838万9000円とするものです。

委員会のうごき

6月定例会における各委員会の審査内容について主なものを紹介します。

◆総務常任委員会
○第26号議案

6月定例会のうごき

5月28日 本会議

▼会議録署名議員の指名
▼会期の決定、諸報告
▼市長提出議案の上程
▼市長提出議案の提案理由の説明

6月1日 本会議

▼議案に対する質疑・一部議案の即決
▼議案の常任委員会付託

6月3日 常任委員会

▼総務常任委員会
▼厚生文教常任委員会

6月4日 常任委員会

▼建設産業常任委員会

6月8日 特別委員会

▼17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

6月9日 特別委員会

▼交通政策及び観光政策特別委員会

6月18日 本会議

▼一般質問
▼児玉郡市広域市町村圏組合議会議員の選挙

6月19日 本会議

▼一般質問

6月22日 本会議

▼一般質問

6月24日 本会議

▼各特別委員長報告／採決
▼各常任委員長報告／採決
▼議員提出議案の上程／採決
▼閉会中の継続審査



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では、18名の議員が質問を行いましたので主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は議会事務局、児玉総合支所、図書館及び市議会ホームページで閲覧することができます。
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



ここがポイント！ そこが聞きたい！！



問 出生時の体重が2500g未満の低出生体重児「リトルベビー」への支援として、他自治体でも始まった搾乳機の購入やレンタルへの助成、母乳パンプへの助成をしていますが、また授乳室で搾乳できることを示す搾乳ステッカーを市内のあらゆる赤ちゃんの駅に貼ってはどうか。

答 小さく生まれた赤ちゃんは、やはり医療的ケアが必要となる場合も多く、子どもの出生直後、乳幼児期などのライフステージごとに、健康や発育、発達など様々な育児上の不安などを抱えているご家族もいらっしゃるのではないかと思います。

小さく生まれた赤ちゃんは、長期にわたり入院することが多く、「わが子へ母乳を届けたい」という思いを持つご家族がいることを認識しています。小さく生まれた赤ちゃんに限らず、子育て支援につ



搾乳マーク

ては様々な要望をいただいており、産婦全体を広く対象とした支援のあり方について、要望等も踏まえ検討する必要があります。産婦全体に対する支援の観点を踏まえながら、搾乳機購入費等の助成事業の必要性や有用性について、どのような形での支援が望ましいのか、調査研究していきます。

搾乳ステッカーの活用について、まずは、本庄市役所とアスパアこだまの赤ちゃんの駅で掲示します。また、市内の赤ちゃんの駅や授乳スペースを設けている商業施設や公共施設については、搾乳マークの周知を図っていきます。（こども家庭センター）

【その他の質問】
・生命（いのち）の安全教育について

問 この制度は事前に学校に届ければ年3日欠席にならず学校を休むことができます。家族で計画をたて様々な体験活動や学びを、保護者と共に平日に学習活動を行い学校では得られない学びの機会を提供できる制度だ。一方で家庭による利用機会の差や学校現場の負担・学習進捗の影響など課題も指摘されている。深谷市では6月から制度導入が始まった。本市も導入を検討しているのか伺う。

答 ラーケーション制度の先進自治体である愛知県が公表している児童生徒、保護者、教職員を対象としたアンケート結果を本市で分析した結果、家庭の状況や保護者の職業によって取組に差が生じる可能性があること、子供の学習に遅れが生じる可能性があること、さらに、これからラーケーションの制度が広がり、ラーケーションを取得する児童生徒が増えた際に、



学校での活動や授業、学習にどのような影響がでるのかわからない点が多いことなどの課題があります。一方、働く保護者が子供たちと過ごす時間が増えること、子供の新たな学習機会の創出につながることもあったメリットもあります。

教育委員会としては、これらの課題やメリット、先進自治体の取組の分析結果をふまえて、ラーケーションの目的やねらい、何より本市の児童生徒にとっての有効性や効果について引き続き調査研究していきます。（学校教育課）

【その他の質問】
・道路交通法改正に伴ったインフラ整備について
・工事書類スリム化の本市への導入について

問 本市が掲げる「世のため、後のための教育」の理念を踏まえ、子どもたちの自己肯定感や郷土への愛着・誇りを育むため、児玉飛行場や戦後開拓、産業形成の歩みを郷土教育資源として捉え、史実の調査研究や資料・証言の収集整理に着手し、次期計画等で研究・検討する考えはあるか伺います。

答 児玉飛行場は昭和18年に陸軍熊谷飛行学校児玉教育隊として開設され、翌年に児玉基地と改称し、特別攻撃隊の基地として終戦まで使用されたもので、概略は『本庄市史通史編』『児玉町史近現代資料編』の中で掲載されています。公文書などの一次資料や当時の写真資料等は極めて少なく、飛行場建設時に関する陸軍の資料や設計図等は確認できていません。

戦後は、飛行場を解体し、大規模な農地が作り上げられたことが上里町に建立されて



児玉工業団地造成事業 完成記念碑

いる西瓜（スイカ）の石碑に記されていますが、戦後復興史は石碑の碑文による資料に留まり、十分に収集が出来ていないことが現状です。

発掘調査等で確認された遺構の情報は、各調査の報告書に記載するとともに、文化財展示コーナーで開催した「本庄市の遺跡最新出土品展」にて周知啓発を図っています。

児玉飛行場とその後の復興は本市を形作る重要な歴史ですので、今後も歴史的価値のある一次資料を含め、寄贈等による資料の収集に努め、どのように整理、活用していくか検討していきます。（文化財保護課）

【その他の質問】
・土葬墓地等に関する適正管理と生活環境の保全について

問 国道462号と交差点から西にアスパア児玉北入口交差点までの区間の見直し等を行ってありますが、国道462号と交差する児玉駅入口交差点からアスパア児玉交差点の240メートルの区間で、県と連携し事業を進めている交差点・拡幅・歩道整備・電線地中化の本年までの進捗状況及び今後の事業計画について伺います。

答 児玉駅入口交差点整備の事業は、国道462号の事業区間366mの中で、歩道整備と交差点改良、無電柱化を進めています。埼玉県に確認したところ、用地取得が現在8割程度完了しており、引き続き残る用地の取得を進めるとのことです。無電柱化事業については、路線全体の用地取得が完了後、工事着手となります。このことから児玉駅入口交差点についてもすべての用地取得が完了



児玉駅入口交差点

した時点で工事着手となります。本市としても埼玉県には早期整備の要望を継続して行っています。

市道第2級1号線は、令和2年度から測量業務に着手し、令和3年度から道路拡幅に必要な用地取得に着手しています。令和7年度末時点の用地取得率は全体の7割程度です。また令和6年度から令和7年度にかけて、電線共同溝及び道路の詳細設計を実施しました。今後は残る用地の取得に取り組んでいきます。工事はすべての用地取得後、道路拡幅に併せて電線共同溝の整備を行い、その後、歩道や車道の整備を行う計画となります。（道路管理課・道路整備課）

【その他の質問】
・市立中学校部活動（運動部）について

市民が憩える地域の公園環境整備について

倉林 益代（市議団きせき）

問 指定管理者に管理を委託している本庄市の公園は、昨年、第4回定例会において事業者が選定され、令和8年4月、新たな5年がスタートした。事業者が行う体育施設の管理と公園管理の費用の内訳。市内公園の環境等整備状況について伺う。

また、市民が憩える地域の公園を実現するため、官民協働の「指定管理者制度」と市民参加の「公園愛護会制度」の周知、施策について伺う。

答 現在、市内140か所の公園と13か所の体育施設を3区域で指定管理者が管理運営しています。

5年間の指定管理料の内訳は、北地域は公園に3億3510万7千円、体育施設に1億170万2千円、中央地域は公園に4億2500万円、体育施設に5億9千万円、南地域は公園に2億5400万円、体育施設に1億8600万円、主な業務として、園

内の清掃・除草、樹木の剪定や手入れ、害虫駆除、遊具等の点検・修繕、トイレ等の施設等の定期的な実施のほか、自主的な取組として、市民と連携した公園づくりの取組を実施していただいています。

公園愛護会は34団体が登録され、43か所の公園で活動していただき、公園の面積や活動実績に応じて報奨金を支給しています。ニーズを把握し、より効果的な支援策に繋がるよう、報奨金制度の見直しを含め検討するとともに、公園愛護会への参加者を確保していくため、市広報紙等で公園愛護会の紹介や会員募集等を周知していきます。

（都市計画課）

【その他の質問】
・給食費未納・滞納への対応について



愛護会と協力して設置した公園の花壇

本庄市役所の採用力向上について

図師 雄太（市議団共創）

問 本庄市の令和7年度大卒一般事務職の申込者数は、令和2年度比で28%減少している。市はこの状況をどのように認識しているのか。また、減少の背景と対策、本庄市が他自治体と比べて選ばれる理由や強みについて伺う。

答 職員採用は、全国的な人口減少に伴う民間企業や自治体間の人材獲得競争が激化している状況です。令和2年度は、試験方法を民間型のテストセンター方式に変更したことで受験者層が広がり、申込者数が増加したという背景があります。しかし、官民間問わず人材確保のための競争が年を追うごとに激しくなり、申込者数の確保が難しくなっている状況です。まずは、本市を知っていただくため、広報紙やSNSをはじめ、様々な情報媒体による周知活動を行っています。さらに、業務内容等を知っていただく

ため、若手職員の働く様子を採用パンフレットに掲載するなど本市の魅力を届けられるよう取り組んでいます。

他自治体と比較し、本市が就職先として、選ばれる理由や強みについて、本市の魅力として、交通の利便性が高く、災害が少ない歴史と文化が薫るまちであるといった特色があります。こうした特色のもと、職員の創意工夫や主体的な取組をまちづくりに生かすことができることも、強みの一つであると考えています。魅力ある職場をつくり、相乗効果として本市の採用力を高め、活力ある持続可能なまちを目指していきます。

（行政管理課）

【その他の質問】
・国道17号以北の地域存続と公共施設のあり方



市道、私道の街路灯・防犯灯について

富田 雅寿（市議団知新）

問 商店会設置以外の民間設置の街路灯は、昭和の時代、市が未だ防犯灯設置システムの無い時代に、市民が自主的に設置したものですが設置主も不在が多い現代防犯灯同様に市で対応すべきと思いますがいかがでしょうか。また、8、10年前、市内防犯灯を一齐にLED化しました。これが切れ始めました。現状の一つ一つ自治会申請ではなく、市で一齐に取り換える方法はないでしょうか。

答 商店会以外で維持管理されている街路灯を防犯灯として扱うことについては、距離や灯具の消費電力といった基準が異なるため、そのまま防犯灯として扱うことは困難であると考えています。市では、年間に1自治会1基の補助金交付の運用を令和8年度より変更し、街路灯を撤去し防犯灯を要綱で定めた規格・基準で設置する場合

【その他の質問】
・生活環境と塵芥収集について

は別枠で、予算の範囲内において、補助金の交付を可能としました。街路灯所有者と自治会の協力により、地域の灯りを守る一助に活用いただきたいと考えています。

防犯灯をLED化してから、12年が経過したものもあり、寿命が近づいているという認識です。予測される寿命による交換については、各自治会の皆さまの同意を得ながら、市が計画的に交換します。通りを照らす街路灯や防犯灯は、安全安心な生活には欠くことのできないまちの灯りです。今後も自治会連合会や各自治会の皆さまのご意見を伺いながら取り組んでいきます。

（市民活動推進課）



放射線治療機器

（健康推進課）

答 本市でも令和7年度に2件の目撃情報が寄せられており、いづどこに出没してもおかしくない状況であると認識しています。

クマ等が人の日常生活圏に出没した場合の通報から緊急銃猟までの対応フローですが、国のガイドラインに沿った「本庄市クマ等出没対応マニュアル」を現在作成中で、その中で整理を進めています。



【その他の質問】
・ため池・水源地域の保全と周辺土地利用への対応について



LED防犯灯

オンライン診療について

原 由徳（市議団きせき）

問 夜間に子どもが急病となった際の不安軽減や医療アクセス向上のため、オンライン診療について本市はどのような認識を持っているのか。また、先進自治体の取組を踏まえ、本庄市においても導入を進めるべきではないか。さらに、費用だけでなく市民の安心感や保護者の負担軽減なども含め、総合的な観点から検討すべきではないか伺う。

答 今後、情報通信機器を用いた診療の普及がより一層進む中、限られた医療資源の補完と、患者の負担軽減の観点から医療を受けやすくなると認識しています。令和8年4月1日の法改正により自治体等の参入も可能となり、県内では深谷市と秩父地域が導入しています。2地域の背景には、夜間帯の医療体制の縮小が共通しており、その体制を補完する役割を期待し導入したと伺っています。

（健康推進課）



【その他の質問】
・持続可能な農業経営に向けた支援について
・本庄市の産業基盤整備と企業誘致について

オンライン診療は、医療資源が不足する地域や時間帯に受診しやすくなりますが、触診等ができないため、医師の判断によっては利用できない場合があるとのことです。

実施にあたっては、実施方法や診療科目及び対象患者、開設場所等を慎重に検討する必要があります。本市としては、休日や夜間の小児医療体制について課題として認識しています。引き続き、関係機関と連携を図りながら、オンライン診療の導入も含めた医療体制の充実に向け調査研究してまいります。

指定管理者制度について

小賀野 健司（市議団一期）

問 指定管理者制度は、文化施設やスポーツ施設・公園、福祉施設など幅広く公の施設で活用されています。①本市は、地域貢献と役割分担と情報共有が欠けているという市民の声があること。②本市の選考結果は、従来実績のある団体が指定されたり応募が一団体のみのケースがあり、公平性と透明性が十分に確保されているかということについて、どうお考えか伺います。

答 指定管理者の地域貢献について、基本協定書や仕様書の中にも、その必要性や重要性を明記しており、各種イベントの開催など、指定管理者の自主事業として積極的に展開し、皆さまに楽しんでいただいています。役割分担と情報共有については、基本協定書などに維持管理費用の負担区分や情報共有の体制を定めており、毎月の事業報告や緊急時の連絡体制などを

明確にし、予期せぬトラブルにも対応できるよう努めています。一方で、市民からのご意見・ご指摘がある点については、真摯に受け止め、改善できる点は迅速に対応する必要がありますと考えています。

事業者選定における公平性と透明性について、応募が1団体のみとなる事例や実績がある団体が継続して選定される状況が生じていることは、認識しています。公平性や透明性を確保することは、より多くの事業者が応募しやすくなり、多様な事業提案を受けられる機会の確保の観点からも重要です。新規の事業者が参入しやすいものとなるよう、引き続き調査研究してまいります。（資産マネジメント推進課）

【その他の質問】
・空き家について



安心に暮らせる街づくりにについて

栗田 弘志（公明党）

問 安心に暮らせる街づくりの医療体制の充実についての産婦人科について伺います。今年の三月で市内唯一の分娩施設が休止になりました。分娩取扱病院が市内に無い状態になります。そうすると近隣市まで行かなくてはなりません。経済的負担が大変になります。そこで、本庄市として「妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援」が出来ないでしょうか伺います。

答 国では令和6年度に妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援事業を開始しました。概ね60分以上の移動時間を要する、自宅等から最も近い分娩取扱施設、または周産期母子医療センターで分娩する妊婦を対象としています。

令和7年度の市外の分娩施設利用状況は、県内では深谷市、県外では伊勢崎市、高崎市が主な利用先となっています。



す。これらの分娩施設までの移動時間を考えますと、本市における交通費、宿泊費支援の対象となる妊婦は限定的であると考えています。

交通費及び宿泊費支援については、他市町の取組も参考にしながら、子育て世帯全体に対する支援の観点を踏まえ、現在実施している支援も含め、包括的に調査研究してまいります。

本市としても引き続き分娩取扱医療機関も含め、地域医療体制の充実に向け、埼玉県をはじめとした関係機関とも連携して取り組んでいきます（こども家庭センターほか）

【その他の質問】
・安全に暮らせる街づくりについて
・魅力あふれる街づくりについて

AEDの屋外設置について

矢野間 規（市議団きせき）

問 AEDは心肺停止となった方の命を救うため極めて重要な機器だが、夜間や休日でも使えるのか。市民が設置場所を認識しているのか。ここまで含めて「命を救える体制」と言える。市民にとつて地域の拠点でもある小中学校から、段階的に屋外設置を進めることを提案する。「学校に行けばAEDがある」夜間や休日でも屋外から使用できる体制を整えることが重要だが、市の見解を伺う。

答 本庄市内に設置されているAEDは、公共施設・民間施設合わせて182箇所です。市の所有する建物では、64施設に設置され、小中学校では、校舎や体育館の屋内に設置されている状況です。県内でもAEDが屋外に設置されている自治体が複数あり、中でも学校施設の屋外設置が多いようです。市民の皆さまの万が一に備えて、特に小中学校への屋外型の設



所沢市内小学校の屋外型AED

【その他の質問】
・子育て支援事業の利用率向上に向けた広報について

置については、場所がわかりやすい公共施設であるため、有効な候補であると考えられます。また、屋外に設置することで施設の開館時間等に関わらず、いつでもAEDを使用することができると考えています。一方で、AEDは適切な管理を行わなければ、人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある医療機器であり、いざという時に必要な性能を発揮できない事態は避けなければなりません。日常的な管理を念頭に、設置場所の均一化や収納ボックスの購入など、設置にはいくつかの課題を検討していく必要があると考えています。（健康推進課）

小中学校の冷水器設置、体育館空調設備の整備について

原 史子（市議団共創）

問 小中学生は熱中症予防等している。全ての中学校には冷水器が設置され有効活用されている一方、小学校では設置されている学校が1校のみで、飲み切った場合は水道水からの補充となっている。年々危険な暑さが更新される中、小学校にも冷水器を設置すべきと考えるが、設置についての見解を伺う。

また、小学校体育館の空調設備の整備について伺う。

答 現在、市内公立の小中学校では12校中1校、中学校では4校全てに冷水器が設置されています。これらの多くは、PTAの寄贈により導入されたものです。冷水器は、児童が容易に冷たい水を飲むことができる有効な手段と認識しています。一方で、小学校全校への設置にあたっては、設置費用や設置場所の課題に加え、運用面でも、冷水の連続給水に限り



生徒が有効活用！本庄東中の冷水器

【その他の質問】
・誇れる地域資源 本庄野菜の魅力発信について

卵子凍結支援事業について

堀口 伊代子（市議団二期）

問 東京都では小池都知事の主導により、少子化対策や女性のキャリア形成支援の柱として卵子凍結支援事業を開始している。女性はキャリア形成やライフプランの都合ですぐには妊娠・出産が難しい場合があり、パートナーが不在でも若い頃の卵子を保存することにより将来の妊娠の可能性が残せる。支援について伺う。また、国において支援の動きがある。その際は手を上げていただきたい。

答 卵子凍結にかかる費用は、卵子採取のための医療費、凍結の技術費、凍結後の年間保管料は医療機関によって金額が様々なため、総額で数十万円から数百万円におよび経済的な負担が大きくなります。卵子凍結は、女性のライフプランの自由度を広げる選択肢の1つと考えられる一方で、必ずしも妊娠が保証されるものではないこと、長期保管の費用や心理的負担

が大ききこと、さらに、医療的なリスクも指摘されています。卵子凍結及び保管料に係る費用の助成は、まずは医学的適応卵子凍結について、県で実施している埼玉県小児・

AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の周知を図り、社会的適応卵子凍結についてはご意見として承らせていただきます。

また、国のモデル事業ということで予算化していくとのご紹介をいただきましたが、市ではそういった情報が把握できていません。今後、国から通知等があった場合には、内容を確認していきます。（こども家庭センター）

【その他の質問】
・多死社会における高齢者支援について
・障害者の雇用状況について



エアコン購入、事業所への冷却ベストの購入補助について

柿沼 綾子（無党派）

問 近年の異常な猛暑のもと、2027年には新しい省エネ基準に達していない低価格のエアコンは販売されなくなる。このことに対応して、生活保護世帯への補助7万3千円の引き上げや、新たに低所得者や高齢者への補助を行うことについて伺う。熊谷市で実施している事業所や建設業者へのファン付き冷却ベストの購入補助金を、本市でも実現できないか伺う。

答 生活保護世帯へのエアコン購入費用の限度額改定の要望については継続検討中ですが、厚生労働省から令和8年5月29日付で改定通知があり、令和8年4月以降のエアコン購入費用の支給限度額については、7万3千円から7万8千円に引き上げとなっています。

低所得者や高齢者へのエアコン購入補助は、現時点では埼玉県内で実施している自治体は見受けられませんので、

国・県や近隣自治体の動向を注視し、研究していきます。高年齢労働者の熱中症対策については、国の中小企業を対象としたエイジフレンドリー補助金が空調服も対象になります。市ではこの補助制度を活用いただくため、ホームページや商工団体を通じて市内事業者に周知していきます。現在本市では、市内事業者を対象とした熱中症予防を目的とする空調服購入の補助制度はありませんが、国や県の動向を注視し、先進自治体を参考に、制度導入について調査研究を行っていきます。（高齢者福祉課ほか）

【その他の質問】
・教材費の無償化など教育費の保護者負担の軽減について
・自衛隊への住民基本台帳の提供について



本市の避難所の整備について

加藤 栄二（市議団本庄）

問 現在、本市の指定緊急避難場所は75か所、そのうち、指定避難所が22か所あり、指定避難所となっていない施設の一部には空調設備がついている。しかし、本庄市立中学校体育館には令和7年度に設置されたが、市立小学校体育館には未だに設置されていない。今年の夏も猛暑日が予想されている。市内小学校体育館に空調設備を設置できないか伺います。

答 小学校の体育館も災害時の指定避難所として指定されていることから、避難された市民の皆さまが安心して避難生活を送れる環境を整えることも重要であり、そのためには熱中症予防や快適性の向上を目的とした整備が必要であると認識しています。一方で、小学校の体育館への空調設備の設置にあたっては、中学校に比べて施設数が多いことや統合が予定されている学校があること、また、

設計業務委託費や工事費のための財源確保などの課題があります。

教育環境の整備という観点からも統合予定校も含め全12校を対象とした検討を進めていく方向ですが、これらに関して具体的な整備内容やスケジュールを決定するには、さらなる綿密な調整が必要となります。

市としては、小学校体育館への空調設備設置の必要性を強く認識していますので、これを実現するため引き続き具体的な事業計画の検討を進めていきます。

【その他の質問】
・本庄市公共施設等総合管理計画について
・本庄市の障害者グループホームについて



市内中学校生活における保護者負担について

田中 輝好（市議団知新）

問 部活動によつては、保護者の負担が想像以上に大きく希望した部活を選択できない生徒もいるようです。公平性の観点から、市はどのように整理しているか。

また、部活動の運営に協力できる保護者とできない保護者に差がみられるが、この問題をどのように見ているか。また、部活動の地域展開が進む中で、負担という観点から地域展開の問題点をどのように捉えているか伺います。

答 市内公立中学校における部活動で使用する共有の備品等は、原則として公費により購入・整備したものを使用しています。一方で、種目によっては、保護者に金銭的負担が生じることも事実です。家庭の経済状況に関わらず、子供たちが希望する部活動を選択できる環境を可能な限り整え、部活動に参加できるようにしていきます。部活動の運営における保護



部活風景

者の負担について、試合が土日に集中すると、家庭事情等の違いにより、協力できる保護者とできない保護者に差が見られることがあります。この課題に対し、学校では、早い段階で年間スケジュールを共有することで保護者が予定を調整しやすくなり、特定の個人に負担が集中することを回避できると考えています。

本市は、段階的な地域展開を始めたところです。将来的には会費制へ変更し、参加費が発生する可能性があり、経済的・時間的負担の問題など、課題を抽出し、実効性のある支援策や仕組みづくりに向けて、検討を進めています。（学校教育課）

【その他の質問】
・本庄市の移住定住政策について

委員会のついで②

◆17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

国道17号バイパス本庄道路の早期整備のため、大宮国道事務所を訪問し、要望活動を実施しました。また、17号バイパス本庄道路の工事の施工状況について現地視察をしました。



要望活動の様子

◆交通政策及び観光政策特別委員会

本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅の各路線の沿線市町村で構成されている協議会等が行っているJR東日本への要望活動や要望内容について、担当職員より説明を受けました。

議員提出議案

◆イラン戦争がもたらした物価高・資材不足から暮らし

と営業を守るための緊急対策を求める意見書（要約）

ホルムズ海峡の封鎖により、物価高騰、資材の不足が深刻化するもと、国においては、市場任せ、個別対応にとどまらず、次の暮らしと営業を守るための迅速かつ抜本的な対策をとるよう強く求めます。

- 1 物価高騰から国民の暮らしを守るため、大胆な対策を緊急に実施すること。
- 2 医療、食料、交通・物流、建設など国民生活に欠かせない分野での調達を確保すること。
- 3 コストや金利の上昇による困難から中小企業と雇用を守ること。
- 4 原油及び石油製品の需給を正確に把握し、供給と価格の安定に責任をもつこと。
- 5 石油由来の燃料や原材料の需要抑制対策に取り組むとともに、中長期の視点にたった省エネ・再エネの抜本強化をただちに進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和8年6月24日
本庄市議会

「本庄市議会だより」表紙写真を募集します！

「本庄市議会だより」の表紙を
あなたの撮影した写真で飾ってみませんか。

《写真のテーマ》 **ここにいたい。本庄**

《応募期間（必着）》 11月15日発行号…令和8年8月15日～9月18日

2月15日発行号…令和8年11月15日～12月18日

応募規定 次に該当するもので、**どなたでも** 応募いただけます。
(1号につき2枚まで)

- ①応募者本人が本庄市内を撮影した写真
 - ②概ね1年以内に撮影した未発表のもの
 - ③人物が特定できる場合、被写体の承諾を受けたもの
 - ④合成写真、組み写真、画像加工処理したものは不可
 - ⑤デジタルデータ (JPEG形式、2240×1680ピクセル以上)
- 又は現像した写真 (2Lサイズ以上) で提供できるもの



どこにでも行けるけど、
ここにいたい。本庄

応募方法 表紙写真公募要領に記載の事項をご確認いただいた上、応募用紙に必要事項を記入し、議会事務局へメール (gikai@city.honjo.lg.jp)、郵送又は持参 (土・日・休日を除く) にてご応募ください。

※応募用紙、表紙写真公募要領は、ホームページ又は議会事務局にて配布しています。



表紙写真HP

永年勤続議員表彰

このたび、全国市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の定期総会において、地方自治進展のために貢献された市議会議員に対し、永年勤続の表彰が行われました。

20年表彰

25年表彰



柿沼 綾子
議員



早野 清
議員

※表彰規程により、町議会議員としての勤続年数は、その2分の1が市議会議員の勤続年数に通算します。

◆◆◆インフォメーション◆◆◆

本会議のライブ中継・録画配信

○本会議の全日程をライブ中継及び録画配信でご覧いただけます。また、録画配信では、過去5年分をご覧いただけます。

★本会議のライブ中継・録画配信のアドレス
https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/rd/council_1.html
※スマートフォンでもご覧いただけます。



傍聴のお知らせ

【本会議を傍聴される方】

本会議は、右記のとおり一般質問の日は午前9時30分に、それ以外の日は午前10時に開会予定です。傍聴を希望される方は、議会事務局で傍聴の手続きを行っていただき傍聴席にご入場ください。

※ヒアリング (磁気) ループもごさいますので、お声がけください。

【委員会を傍聴される方】

委員会は、通常、午前9時30分に開会します。当日の委員会開会5分前までに議会事務局で傍聴の手続きを行ってください。各委員会の定員は3名で、定員を超えた場合は抽選により決定いたします。

※発熱、せきなど、体調不良の方は、傍聴をご遠慮ください。

9月定例会の予定

8月25日(火) 10:00～ 本会議 (議案説明)

8月27日(木) 10:00～ 本会議 (議案質疑)

8月31日(月) 9:30～ 総務常任委員会・厚生文教常任委員会

9月2日(水) 9:30～ 建設産業常任委員会

9月4日(金) 9:30～ 17号バイパス及び
幹線道路整備対策特別委員会

9月7日(月) 9:30～ 交通政策及び観光政策特別委員会

9月14日(月) 9:30～ 本会議 (一般質問)

9月15日(火) 9:30～ 本会議 (一般質問)

9月16日(水) 9:30～ 本会議 (一般質問)

9月18日(金) 10:00～ 本会議 (議案裁決)

※会議の日程は、議事の都合により変更になることがあります。

富小栗山加原岡倉
賀野田田藤 師林
雅健弘高栄由雄益
寿司志史二徳太代

部 副 部
会 部 会
員 会 長
員 員 長

富小栗山加原岡倉
賀野田田藤 師林
雅健弘高栄由雄益
寿司志史二徳太代

本格的な夏を迎え、地域では祭りや行事など、人との交流が増える季節となりました。地域で交わされる何気ない会話や、日々の暮らしの中で感じる小さな気付きには、より良いまちづくりにつながる多くのヒントがあります。6月定例会でも、市民生活に関わる様々な課題について活発な議論が交わされました。本庄市議会は、これからも市民の皆さまの声を大切に受け止めながら、市政の発展に努めてまいります。この議会だよりが、議会を身近に感じていただくきっかけとなれば幸いです。

編集
後記

